

令和4年度 日本スポーツ協会公認コーチ2養成講習会 受講の手引き



競技名	
受講番号 (受講決定時に通知)	
氏名	

※講習会参加の際はご持参ください。また、この手引きは資格取得まで保管してください。
※この受講の手引きは日本スポーツ協会のHPからダウンロード可能です
(トップページ>スポーツ指導者>養成講習会>コーチ2)
<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid209.html>



公認スポーツ指導者育成基本方針

公認スポーツ指導者育成の基本コンセプト

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ文化を豊かに享受するというすべての人々がもつ基本的な権利を保障するため、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を公認スポーツ指導者として育成し、望ましい社会の実現に貢献する。

公認スポーツ指導者とは

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタード*の考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者である。

プレーヤーを取り巻くアントラージュ自身も、それぞれのWell-being(良好・幸福な状態)を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方は、***プレーヤーを支援する関係者**

●公認スポーツ指導者が目指すグッドコーチ像

人物像	キーワード
スポーツを愛し、その意義と価値を自覚し、尊重し、表現できる人	人が好き、スポーツが好き、スポーツの意義と価値の理解
グッドプレーヤーを育成することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることができる人	プレーヤーやスポーツの未来に責任を持つ
プレーヤーの自立やパフォーマンスの向上を支援するために、常に自身を振り返りながら学び続けることができる人	課題発見・課題解決、自立支援、プレーヤーのニーズ充足、卓越した専門知識(スポーツ教養含)、内省、継続した自己研鑽
いかなる状況においても、前向きかつ直向きに取り組みながら、プレーヤーと共に成長することができる人	逆境・困難に打ち克つ力、ポジティブシンキング、真摯さ、継続性、同情・共感、対象に合わせたコーチング
プレーヤーの生涯を通じた人間的成長を長期的視点で支援することができる人	プレーヤーズセンタード、プレーヤーのキャリア形成・人間的成長、中長期的視点
いかなる暴力やハラスメントも行使・容認せず、プレーヤーの権利や尊厳、人格を尊重し、公平に接することができる人	暴力・ハラスメント根絶、相互尊敬(リスペクト)、公平・公正さ
プレーヤーが、社会の一員であることを自覚し、模範となる態度・行動をとれるよう導くことができる人	社会の中の自己認識、社会規範・モラルの理解・遵守、暴力・ハラスメント根絶意識のプレーヤーへの伝達
プレーヤーやプレーヤーを支援する関係者(アントラージュ)が、お互いに感謝・信頼し合い、かつ協力・協働・協調できる環境をつくることができる人	社会との関係・環境構築、チームプレー、感謝・信頼、協力・協働・協調

公認スポーツ指導者育成の3つの方針(3ポリシー)と到達水準

資格認定方針(ディプロマ・ポリシー)

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、公認スポーツ指導者育成の基本コンセプトに基づき、養成講習会の受講等により所定のカリキュラムを修了し、以下の資質能力(思考・判断、態度・行動、知識・技能)を身に付けた者を、公認スポーツ指導者として認定する。

- ・スポーツの価値や未来への責任を理解することができる。
- ・プレーヤーズセンタードの考え方のもとに、暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除できる。
- ・常に学び続けることができる。
- ・プレーヤーの成長を支援することを通じて、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる。
- ・求められる役割に応じて、スポーツ医・科学の知識を活かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導することができる。
- ・求められる役割に応じて、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる。

養成講習会実施方針(カリキュラム・ポリシー)

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ指導者に資格認定方針に掲げる公認スポーツ指導者として必要な資質能力(思考・判断、態度・行動、知識・技能)を修得させるため、すべてのスポーツ指導者に共通して求められる資質能力に関する科目と、役割に応じて求められる専門的な資質能力に関する科目を体系的に編成し、養成講習会を実施する。

受講者受入方針(アドミッション・ポリシー)

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、公認スポーツ指導者育成の基本コンセプトに賛同する者で、養成講習会を通じて、スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、プレーヤーズセンタードのもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通じて、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献する意欲がある者を、養成講習会の受講者として広く受け入れる。

共通科目到達水準

SC共通	共通Ⅰ	共通Ⅱ	共通Ⅲ	共通Ⅳ
<p>・スポーツ指導に係る必要最低限度の知識・技能を持っている</p>	<p>・スポーツ指導に係る基礎的な一般知識を持っている</p> <p>・スポーツ指導に係る目標達成に向けた簡単な課題を解決するのに必要となる基礎的な技能を持っている</p>	<p>・スポーツ指導に係る理論的知識や事実に知識を幅広く持っている</p> <p>・スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑な課題を解決するのに必要となる基礎的な技能を持っている</p>	<p>・スポーツ指導に係る高度な理論的知識や事実に知識を幅広く多様に持っている</p> <p>・スポーツ指導に係る目標達成に向けた複雑で予測困難な課題を解決するのに必要となる高度な技能を持っている</p>	<p>・スポーツ指導に係る様々な分野の先端的知識を持っている</p> <p>・スポーツを取り巻く環境の変化や未来予測を踏まえて自ら設定した課題を解決するとともに、スポーツ指導の革新を牽引していく高度な技能を持っている</p>

・常に自らを内省し、課題を設定することで、知識と技能の幅を広げていく意志を持っている

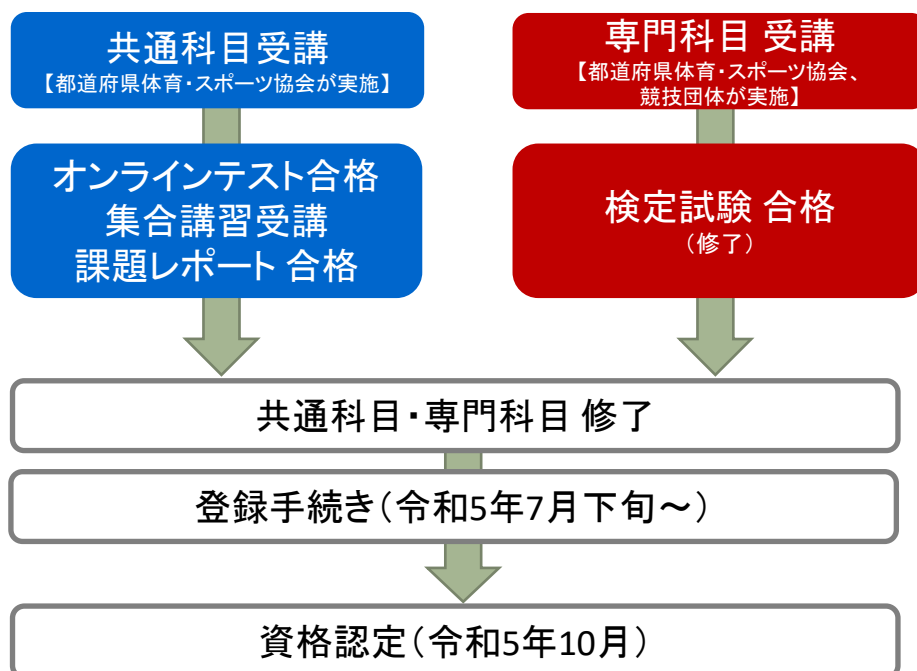
<目次>

受講の流れ	P.2
受講の申し込みから資格認定まで	P.3
指導者マイページ利用マニュアル	別紙

<養成講習会について>

養成講習会は、都道府県体育・スポーツ協会または中央競技団体が実施する「**共通科目Ⅱ**」と「**専門科目(各競技)**」で構成されています。

共通科目と専門科目の両方を「修了」し、登録手続きを完了すれば資格を取得できます。



「公認コーチ2」 (競技別指導者資格)

役割

- ・地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等の監督・ヘッドコーチ。
- ・責任者として安全で効果的な部活を提供し、指導計画を構築・実行・評価し監督する。
- ・コーチ間の関わり・成長を支援する。

カリキュラム

共通科目Ⅱ:135時間

専門科目:40時間以上(各中央競技団体がそれぞれ定める)

専門科目					
メディカル・ コンディショニング資格			アスレティック トレーナー (AT) スポーツ栄養士 (SD)		スポーツドクター (Dr) スポーツ デンティスト (De)
マネジメント資格	アシスタント マネジャー (AM)				クラブ マネジャー (CM) ※5
フィットネス資格	ジュニアスポーツ 指導員 (Jr)	スポーツ プログラマー (SP)			
競技別指導者資格 ※1	スタート コーチ	コーチ1 ※2	コーチ2	コーチ3 教師	コーチ4 ※3 上級教師※4

※1 競技によって受講条件は異なる

※2 共通科目は通信講座による受講

※3 コーチ3の保有が条件

※4 教師の保有が条件

※5 AMの保有が受講条件

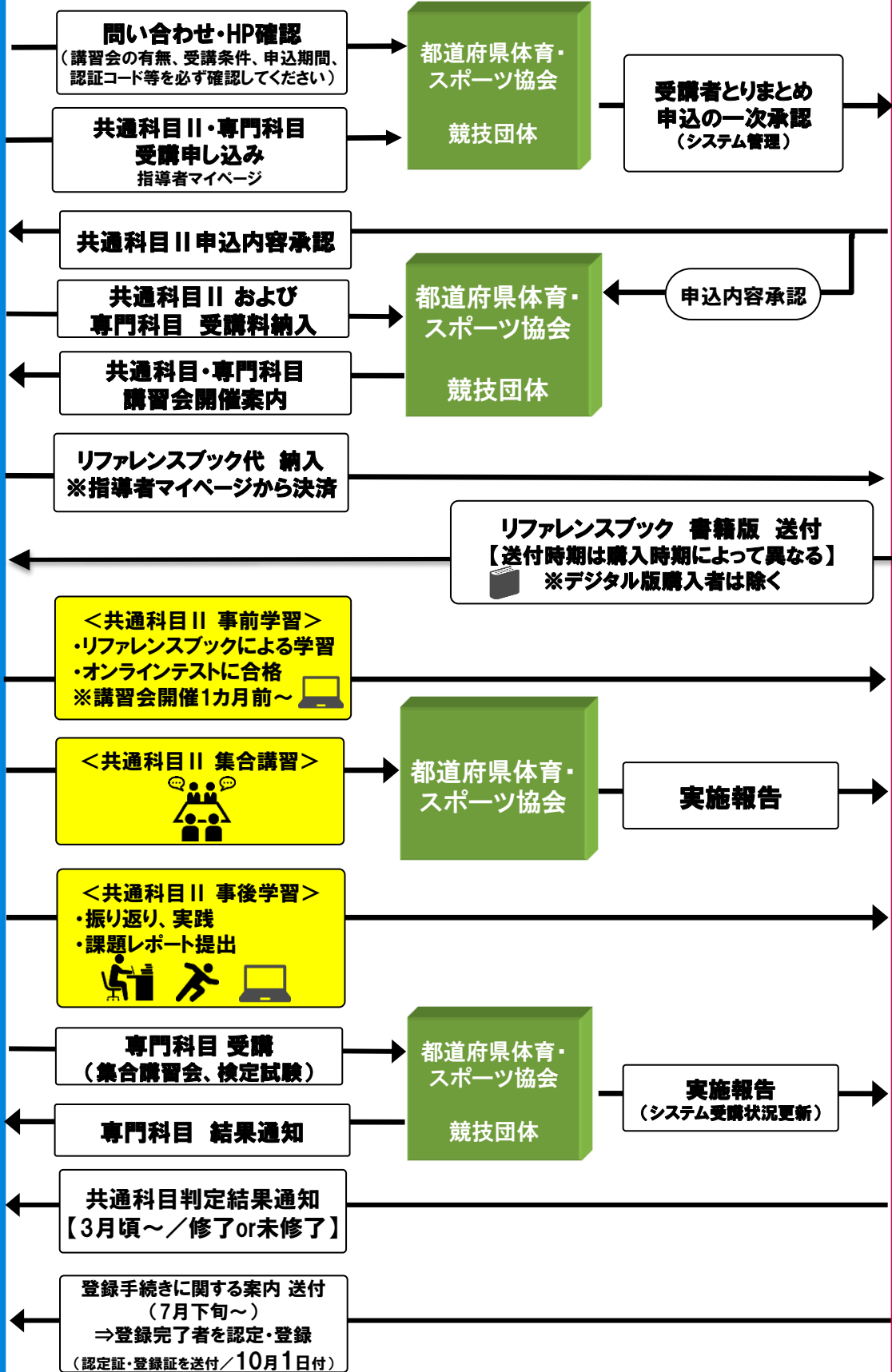
共通 スタート	共通科目Ⅰ	共通科目Ⅱ	共通科目Ⅲ	共通科目Ⅳ	その他
------------	-------	-------	-------	-------	-----

コーチング
アシスタント※2

受講の流れ

受講者

日本スポーツ協会



受講の申し込みから資格認定まで

受講申し込み

受講条件

- 受講を開始する年の4月1日現在、満20歳以上の者で当該競技団体の定める事項に該当する者。
- インターネット環境が整備されており、指導者マイページからの申込ができる者。
- 講習会の全日程に参加できる者。
- 同一年度内に共通科目Ⅱと専門科目講習会に申し込む者(免除者は除く)。
- その他(開催要項をご確認ください)。

※ 競技ごとに年齢およびその他の条件を別途定めている場合がありますので、都道府県体育・スポーツ協会、競技団体のホームページ等にて必ず受講条件の詳細をご確認ください。

※ 他の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格講習会との同時受講はできません。

なお、公認スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会の受講に関しては、この限りではありません。

申し込み期間

共通科目・専門科目ともに実施団体によって異なります。必ずご確認ください。

申し込み方法



指導者マイページからの申し込み

アカウント登録・ログインを行い、実施団体が定める期日までにお申し込みください。
(詳細は「指導者マイページ利用マニュアル」のページをご覧ください)

※ 申し込みにあたっては実施団体に「認証コード」をご確認ください。

※ **共通科目Ⅱ、専門科目それぞれへのお申し込みが必要です。同一年度に必ず共通科目Ⅱ・専門科目の講習会にお申し込みください。**

※ 講習会の詳細については実施団体にお問い合わせください。

◆共通科目Ⅱの免除要件を満たしている方

専門科目のみ申込・受講してください。

専門科目講習会申込時に共通科目の免除申請を行ってください。

なお、その際共通科目Ⅱ免除書類が必要となります。

◆専門科目の免除要件を満たしている方

共通科目Ⅱのみ申込・受講してください。

共通科目Ⅱ講習会申込時に専門科目の免除申請を行ってください。

なお、その際専門科目免除書類が必要となります。

受講料(税込)

共通科目Ⅱ:17,600円 +リファレンスブック:3,300円(紙版)または2,640円(デジタル版)

専門科目:11,000円(競技、講習会によって別途必要経費がかかる場合あり)

※ 共通科目Ⅱおよび専門科目講習会受講料は実施団体にそれぞれお支払いください。

※ **共通科目Ⅱ講習会で使用するリファレンスブックについては、指導者マイページでの決済(日本スポーツ協会)へのお支払いとなります。**

※ 受講キャンセル等による受講料の返金はいりませんので予めご承知おきください。

共通科目Ⅱ 免除要件

保有資格	共通科目Ⅱ	免除申請時 必要書類
(1) 公認コーチ4【有効期限内(4月1日時点)】	免除	システム上で確認できるため不要
(2) 公認上級教師【有効期限内(4月1日時点)】	免除	
(3) 公認スポーツトレーナー 2級【有効期限内(4月1日時点)】	免除	
(4) 公認スポーツトレーナー 1級【有効期限内(4月1日時点)】	免除	
(5) 公認コーチ3 (他競技)【有効期限内】	免除	
(6) 公認教師【有効期限内(4月1日時点)】	免除	
(7) 公認フィットネストレーナー(SP2種)【有効期限内(4月1日時点)】	免除	
(8) 公認アスレティックトレーナー(AT)【有効期限内(4月1日時点)】	免除	
(9) 公認スポーツ栄養士【有効期限内(4月1日時点)】	免除	
(10) 免除適応コース修了証明書(共通Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ) 保有者	免除	
(11) 公認コーチ2(他競技)【有効期限内(4月1日時点)】	免除	システム上で確認できるため不要
(12) 公認スポーツプログラマー【有効期限内(4月1日時点)】	免除	
(13) 健康運動指導士【有効期限内】 ＜健康・体力づくり事業財団＞	免除	登録証
(14) 免除適応コース修了証明書(共通Ⅰ・Ⅱ) 保有者	免除	修了証明書
(15) スポーツリーダー(スポーツ少年団認定員を含む)	—	—
(16) 公認指導員【有効期限内(4月1日時点)】	—	—
(17) 公認ジュニアスポーツ指導員【有効期限内(4月1日時点)】	—	—
(18) 公認アシスタントマネジャー【有効期限内(4月1日時点)】	—	—
(19) 公認クラブマネジャー【有効期限内(4月1日時点)】	—	—
(20) 免除適応コース承認校(分類A・B) 卒業者(H17年度以降)※1	—	—

平成16(2004)年度以前の「免除適応コース修了証明書」をお持ちの方

「免除適応コース修了証明書」の種類	共通科目Ⅱ	免除時必要書類
(1) C級スポーツ指導員/少年スポーツ指導員	—	修了証明書
(2) C・B級スポーツ指導員/スポーツプログラマー/少年スポーツ指導員/少年スポーツ上級指導員	免除	
(3) C級教師/C級コーチ/フィットネストレーナー	免除	
(4) C・B級教師/C・B級コーチ/アスレティックトレーナー/フィットネストレーナー	免除	
(5) C級コーチ	免除	
(6) C・B級コーチ/アスレティックトレーナー	免除	
(7) C級スポーツ指導員・少年スポーツ指導員・スポーツプログラマーⅠ期 共通科目修了証明書	—	
(8) C・B級コーチ共通科目修了証明書	免除	

受講上の留意点

受講決定者には各実施団体から案内が届きます。

※案内が届かない場合は実施団体にお問い合わせください。

※受講条件を満たさない場合は、受講決定に至らないこともありますのでご了承ください。

受講有効期間について

受講有効期間は**4年間**です。

有効期間内に共通科目、専門科目の講習会を受講(競技によっては検定試験に合格)する必要があります。

有効期間内に受講(又は合格)できなかった場合は、受講資格を失い、受講実績も取り消しとなります。

受講料の支払い・受講

【共通科目】

共通科目受講料については、都道府県体育・スポーツ協会への納入となります。都道府県体育・スポーツ協会の案内に従って、納入してください。

共通科目講習会で使用するリファレンスブックについては、指導者マイページからの決済※となります。詳細は受講決定通知にてご案内いたします。

※当協会が定める期日までにリファレンスブック代金の決済がない場合は、受講取り消しとなります。

【専門科目】

都道府県体育・スポーツ協会または中央競技団体からの案内に従って、受講料を納入してください。

※団体が定める期日までに受講料の納入がない場合は、受講取り消しとなる場合があります。

共通科目Ⅱ

免除無し

17,600円(税込)

※実施団体が別に定める場合がありますので、この限りではありません。

免除あり

0円



共通科目 リファレンスブック

3,300円(紙版・税込)

2,640円(デジタル版・税込)



専門科目

免除無し

11,000円(税込)

※競技によって異なる場合があります

免除あり

0円

※リファレンスブックは、書籍(紙版)又はデジタルブック(PDFデータ)のいずれかを選択いただけます。

〈共通科目〉

- ・リファレンスブック代決済後、原本をご購入いただいた場合は原本(書籍版)をお届けします。
- ・デジタル版をご購入いただいた場合、指導者マイページからデータをダウンロードください。
- ・講習会開催1カ月前～共通科目Ⅱ講習会開催前までに事前学習(オンラインテスト、詳細は次ページ)を受講してください。
- ・案内に従って講習会を受講してください。

〈専門科目〉

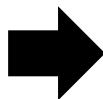
- ・実施団体からの案内に従って受講料をお支払い後、講習会を受講してください。

共通科目Ⅱ事前学習(オンラインテスト)

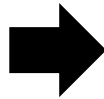
共通科目Ⅱ講習会までに事前学習(オンラインテスト)を行っていただきます。



① リファレンスブック
受取(ダウンロード)



② 自宅学習



③ オンラインテスト

【注意】

リファレンスブックについては、指導者マイページでの代金決済後、3週間までに発送します。

オンラインテストを行うにあたり、インターネット環境が必要となります。

オンラインテストを修了(合格)していない場合、共通科目Ⅱ講習会を受講することはできませんのでご注意ください。

共通科目Ⅱ 集合講習会

・都道府県体育・スポーツ協会が開催する共通科目Ⅱ集合講習会にご参加ください。講習会の詳細については実施団体にご確認ください。

・共通科目Ⅱ集合講習会は講習会のカリキュラム上、部分的な受講はできません。必ず全日程参加できる講習会にご参加ください。一部分でも欠席等により受講しなかった場合、次年度以降に全日程参加いただくこととなります。

共通科目Ⅱ事後学習(課題レポート)について

提出条件

事前学習(オンラインテスト)の合格後、共通科目Ⅱ集合講習会の全日程を受講した方

提出物

課題レポート

※事前学習、講習会での学び・気づきを踏まえ、ご自身の指導現場で実際に取り組んだ内容等について、課題レポートを作成・提出いただきます。

提出期限

受講される講習会の日程により異なります(詳細は講習会の際にお知らせします)。

判定結果

日本スポーツ協会から受講者へ直接通知いたします。

事後学習の流れ

- ①講習会終了後、課題レポートについて案内
- ②実践・課題レポート作成
- ③課題レポートの提出
- ④判定結果の通知

専門科目の受講

受講料納入および受講

実施団体からの案内に従い受講料をお支払いのうえ、専門科目を受講してください。
 開催時期等の詳細については、実施団体にお問い合わせください。
 ※共通科目Ⅱ 集合講習会と日程が重複する場合がありますのでご注意ください。
 ※期日までに受講料の納入がない場合は、受講取り消しとなる場合があります。

結果通知

専門科目の検定・審査は実施団体が行います。
 結果についても、実施団体から受講者へ通知されるとともに、日本スポーツ協会にも通知されます。

共通科目・専門科目 受講状況通知

実施団体からの案内に従って共通科目Ⅱ、専門科目の講習会に参加してください。
 講習会の受講状況を翌年5月頃に原則指導者マイページの登録アドレス宛にお送りします。

		共通科目	
		受講済、修了	未受講、受講中
専門科目	修了	登録手続きに関する案内をお送りします	<共通科目Ⅱ>※ 実施団体にご確認ください
	未受講 未修了	<専門科目>※ 実施団体にご確認ください	<共通科目Ⅱ><専門科目>※ 実施団体にご確認ください

※共通科目、専門科目の両方又はいずれかが未受講の場合、翌年度の講習会実施予定は実施団体にご確認ください。競技によっては実施しない場合もございますのでご了承ください。
 ※各年度の講習会実施予定は日本スポーツ協会ホームページに掲載しています。

登録手続きに関する案内 送付(7月下旬～)

公認スポーツ指導者として認定されるには、所定の登録手続き(登録料の支払い・登録内容の確認)を完了する必要があります。

共通科目と専門科目両方を修了された方に登録手続きに関する案内をお送りしますので、お忘れなきようお願いいたします。

登録料 *1

登録料には、以下の種類があり、これらの合計金額を納入いただく必要があります。

■基本登録料:10,000円/4年間

保有する資格の種類や数に関わらず、一律10,000円/4年間となります。

■資格別登録料:資格により異なる

保有する資格の種類によって異なります。詳細は下記のホームページをご確認ください。

■初期登録手数料:3,300円/1資格

その資格を初めて登録する際にかかる手数料です。更新登録時には不要となります。

有効期間 *2

所定の期日までに手続きを完了された方を、当該年**10月1日付**で認定し、日本スポーツ協会から「認定証」と「登録証」をお送りします。

資格の有効期間は**4年間**です。

資格の更新 *3

資格を更新するためには、有効期限の6カ月前までに日本スポーツ協会または中央競技団体等が定める研修(更新研修)を受講することが必要です。

すでに別の公認スポーツ指導者資格を保有している方(スポーツリーダー、サッカー、バスケットボールを除く)

*1 有効期間内に別の資格を追加・昇格する場合、基本登録料は必要ありません。

資格別登録料は、残りの有効期間に応じた期割(4年8期)で算出されます。

*2 有効期限は元々保有している資格に併せられます。

*3 有効期間内に別の資格を取得するための養成講習会を受講した場合も、更新研修の受講は必要です。

【同一競技内の昇格の場合】

更新研修受講のタイミングは、有効期限の6カ月前までであれば、昇格の前後どちらでも構いません(水泳、テニスなど複数回の研修受講が必要な資格を除く)。

【別の競技資格の追加の場合】

元々保有している資格については、更新研修の受講が必要ですが、新しく追加された資格は、有効期間が4年間に満たないことから、更新研修の受講が一度免除されます(水泳、テニスなど複数回の研修受講が必要な資格を除く)

登録手続きに関する詳細は、日本スポーツ協会のホームページをご確認ください。

▼日本スポーツ協会>スポーツ指導者>登録に関する各種手続き

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid229.html>



【確認】必ずお読みください

【共通科目Ⅱ集合講習会】

専門科目講習会の日程と重なっていないかどうか必ずご確認の上、お申し込みください。
オンラインテストを修了(合格)していない場合、共通科目Ⅱ講習会を受講することはできません。

【事後課題レポート】

事後課題レポートは、締切り厳守となります。提出期限後の課題が提出なされた場合は、いかなる理由があっても認めておりません。

【連絡】

事後課題レポートの結果通知等、講習会に関する当協会からの連絡はメールで行います。指導者マイページに登録しているアドレスを常に最新なものとなるよう設定してください。また、**必ず shidojin@japan-sports.or.jp のメールが受信できるように設定をしていただくようお願い致します。**メールが受け取れない等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

【不適切行為】

受講者としてふさわしくない行為(日本スポーツ協会公認スポーツ指導者処分基準等において違反行為と規定された行為)があったと認められたときは、日本スポーツ協会指導者育成委員会または加盟団体等において審査し、受講資格の取消しないしは停止、受講済科目の一部ないしは全部の取消し、資格登録権利の停止等の処分を行う場合があります。なお、処分内容については、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者処分基準等の関連規程に照らし合わせるるとともに、受講状況等に応じて検討することとします。

【広報】

本講習会風景の写真等は、日本スポーツ協会または加盟団体等のホームページ及びその他関連資料へ掲載する場合があります。

【免責事項】

天災地変や伝染病の流行、講習会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の日本スポーツ協会または加盟団体等が管理できない事由により、研修内容の一部変更及び中止のために生じた受講者の損害については、日本スポーツ協会または加盟団体等ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

【個人情報の取り扱いについて】

- ・ 受講申し込みにあたり提供いただく個人情報は、公認スポーツ指導者養成団体が共同利用することとし、本養成講習会の運営・管理および諸連絡に使用します。
- ・ 「スポーツ指導者の活動に関する調査」にて取得した情報は、個人が特定される形での集計・公表はいたしません。
- ・ 日本スポーツ協会は、本養成講習会における受講管理を業務委託いたします。業務委託にあたっては、当協会と委託先の間で個人情報保護に関する覚書を締結し、個人情報の取り扱いについては十分注意を払っております。
- ・ 当協会個人情報取り扱いについては、日本スポーツ協会HPからご覧いただけます。

トップページ > 個人情報保護方針・特定個人情報基本方針
<https://www.japan-sports.or.jp/privacy/policy.html>

